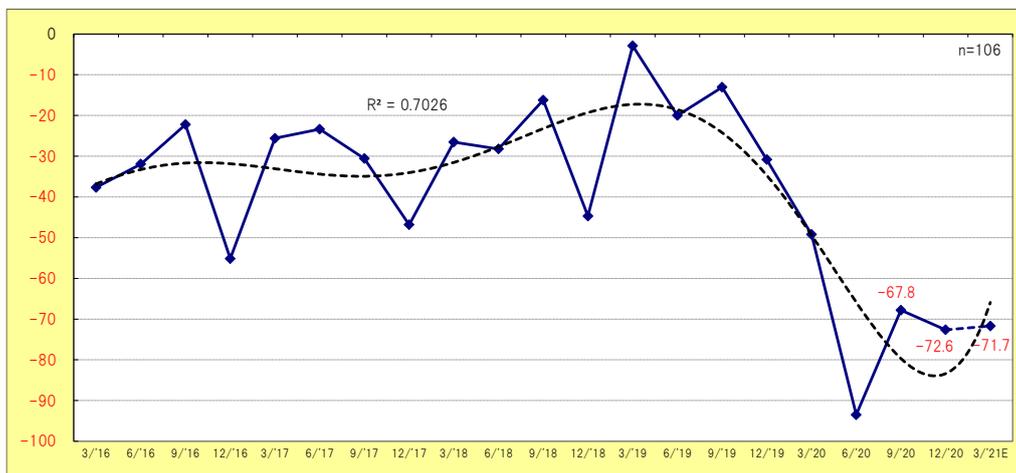


第 83 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

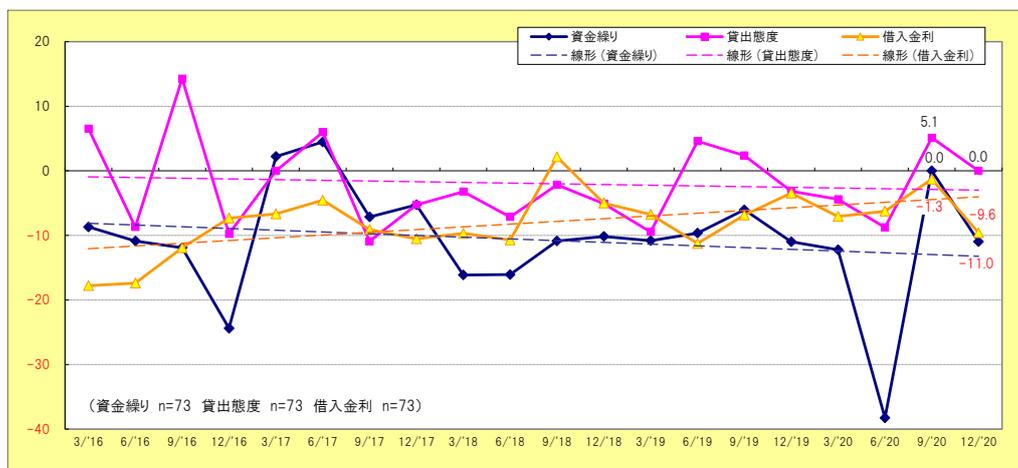
2021 年 1 月

要点

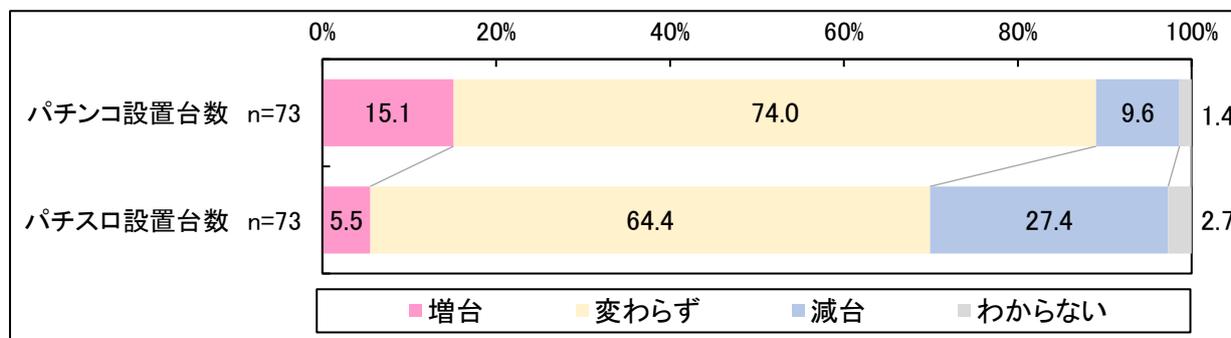
■ 全般的業況の推移: 業況はやや悪化、3 カ月後も厳しい見通し



■ 企業金融: 全項目で悪化、資金繰りはマイナスに転じる



■ 設置台数: パチンコは「増台」、パチスロは「減台」の割合が高い



◇ 回答状況

73 企業、106 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

主要指標数値(DI 値)結果

■業況はやや悪化、パチスロは特に厳しい。遊技機投資は回復

12 月期の「全般的業況」は▲72.6 ポイント(前回比 4.8 悪化)とやや落ち込んだ。3 カ月後は▲71.7 ポイントとなり、依然として見通しは厳しい。

「稼動状況」はパチンコ▲76.4 ポイント(前回比 8.0 悪化)、パチスロ▲90.6 ポイント(前回比 24.2 悪化)まで落ち込んだ。3 カ月後はパチンコ▲70.8 ポイント、パチスロ▲91.5 ポイントとなり、パチスロは特に厳しい見通しである。

「資本投資気運(遊技機)」は 4.1 ポイント(前回比 28.2 良化)まで大幅に回復、3 カ月後は▲4.1 ポイントとマイナスに転じる見込みである。「資本投資気運(その他設備)」は▲27.4 ポイント(前回比 5.5 良化)、3 カ月後は▲28.8 ポイントと概ね現状維持の見通しである。

「不足感(雇用人員)」は、前回の▲6.1 ポイントから▲5.7 ポイント(前回比 0.4 良化)、3 カ月後は▲7.5 ポイントとなり、概ね現状維持の見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	-67.8	-72.6	-71.7	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
2. 稼動状況 (パチンコ)	-68.4	-76.4	-70.8	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
3. 稼動状況 (パチスロ)	-66.4	-90.6	-91.5	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
4. 資本投資気運 (遊技機)	-24.1	4.1	-4.1	現状は曇りに良化 見通しも引き続き曇り
5. 資本投資気運 (その他設備)	-32.9	-27.4	-28.8	現状は雨に良化 見通しも引き続き雨
6. 不足感 (営業用設備)	-9.6	-13.2	-21.7	現状は雨に悪化 見通しも引き続き雨
7. 不足感 (雇用人員)	-6.1	-5.7	-7.5	現状は引き続き曇り 見通しも引き続き曇り

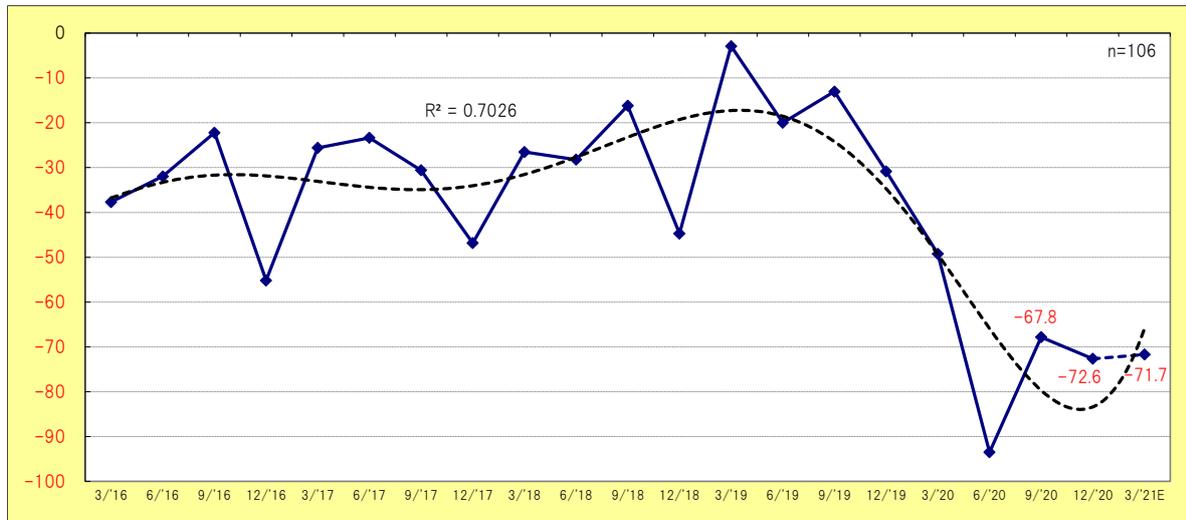
凡例: 天気記号の基準 DI 値

記号					
DI 値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体)

注:2021年3月期(3/'21E)の数値は見通し

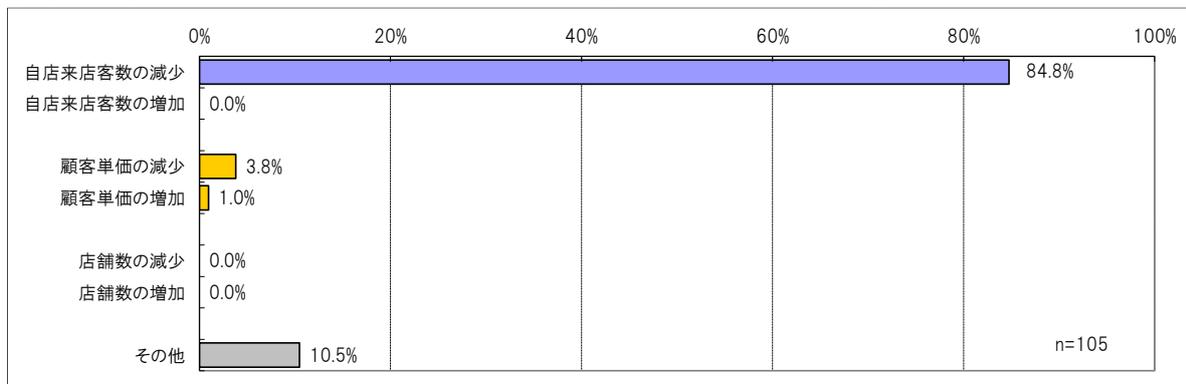
■全般的業況:業況はやや悪化、3カ月後も厳しい見通し



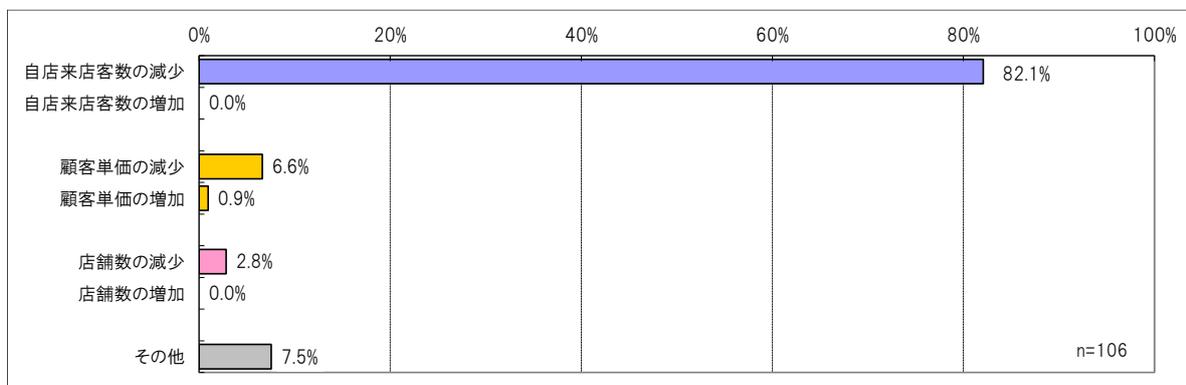
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲72.6ポイント(前回比4.8悪化)、3カ月後の見通しは▲71.7ポイントと概ね現状維持となり、1回目の緊急事態宣言が解除されてからも低迷した業況から抜け出せていない。

■全般的業況の悪化理由:「来店客数の減少」が8割以上

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



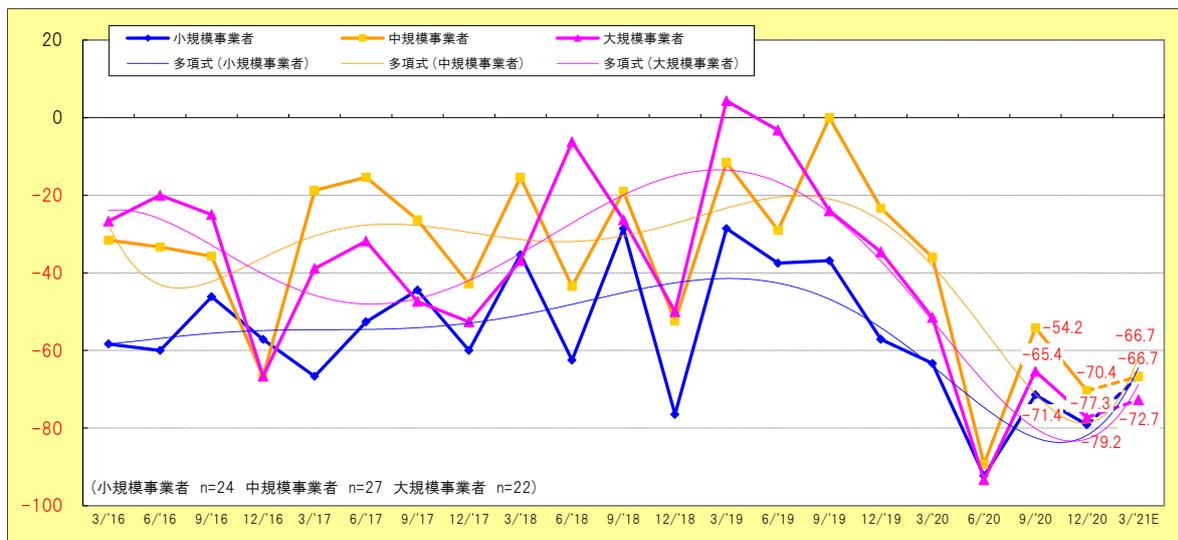
【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



全般的業況(規模別・地域別)

注:2021年3月期(3/21E)の数値は見通し

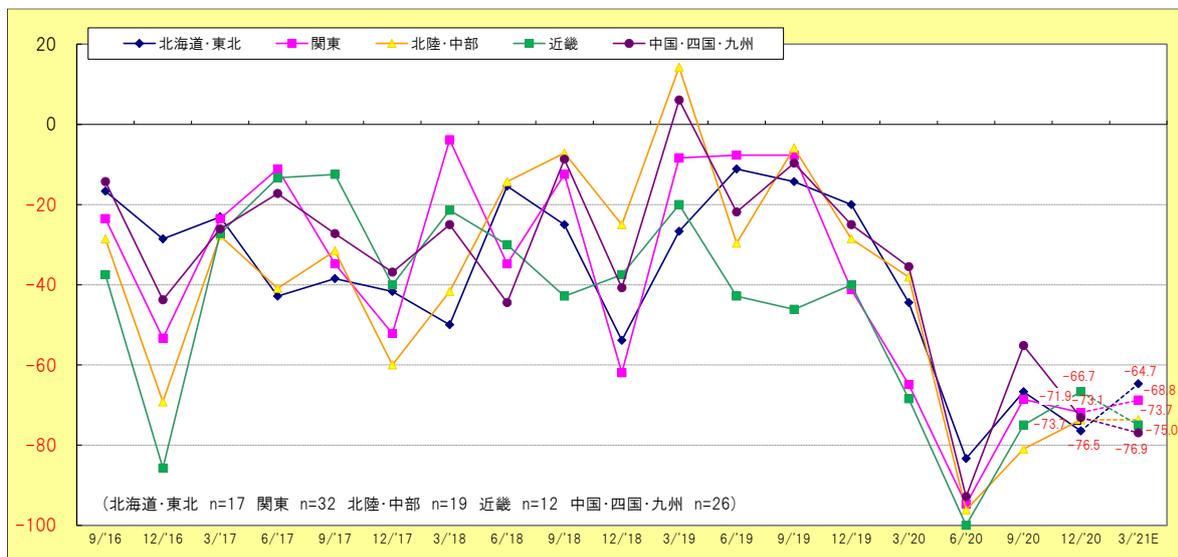
■全般的業況(規模別):全事業者で悪化、3カ月後は回復基調だが見通しは厳しい



事業規模別の「全般的業況」では、全事業者で悪化した。小規模事業者(1~3 店舗)が▲79.2 ポイント(前回比 7.8 悪化)、中規模事業者(4~10 店舗)が▲70.4 ポイント(前回比 16.2 悪化)、大規模事業者(11 店舗以上)が▲77.3 ポイント(前回比 11.9 悪化)となった。

3 カ月後はすべての事業者で回復が見られるものの、厳しい見通しに変わりはない。

■全般的業況(地域別):近畿、北陸・中部で回復も、業況は厳しい

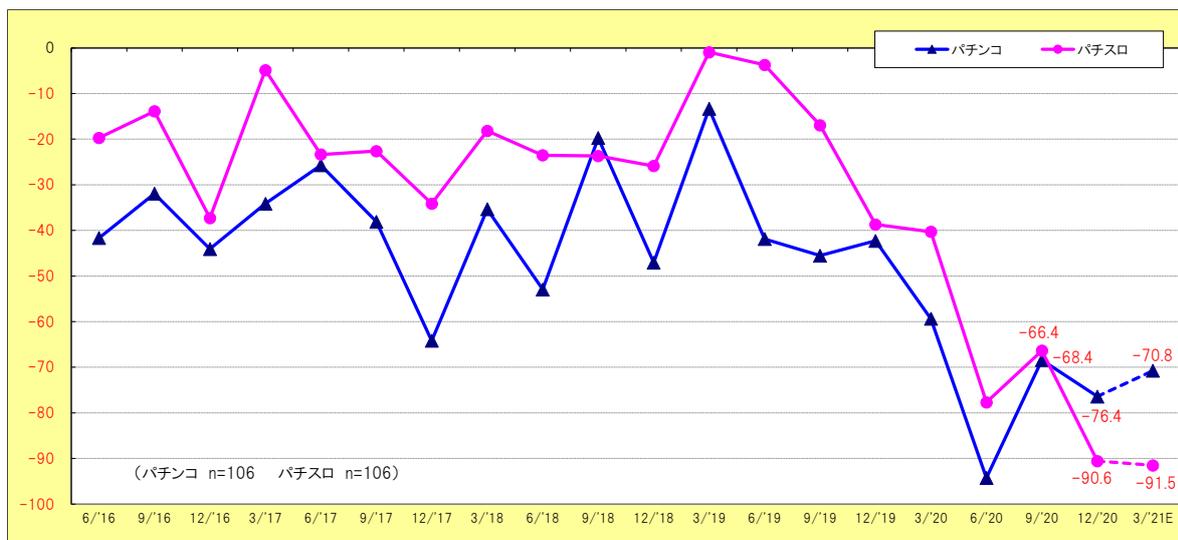


地域別での業況は、近畿、北陸・中部以外の地域で悪化した。地域順では、近畿で▲66.7 ポイント(前回比 8.3 良化)、関東で▲71.9 ポイント(前回比 3.3 悪化)、中国・四国・九州で▲73.1 ポイント(前回比 17.9 悪化)、北陸・中部で▲73.7 ポイント(前回比 7.3 良化)、北海道・東北で▲76.5 ポイント(前回比 9.8 悪化)となった。

地域によって 3 カ月後の回復状況にバラツキはあるが、2 回目の緊急事態宣言前の調査のため、現時点では見通しが変わっている可能性がある。

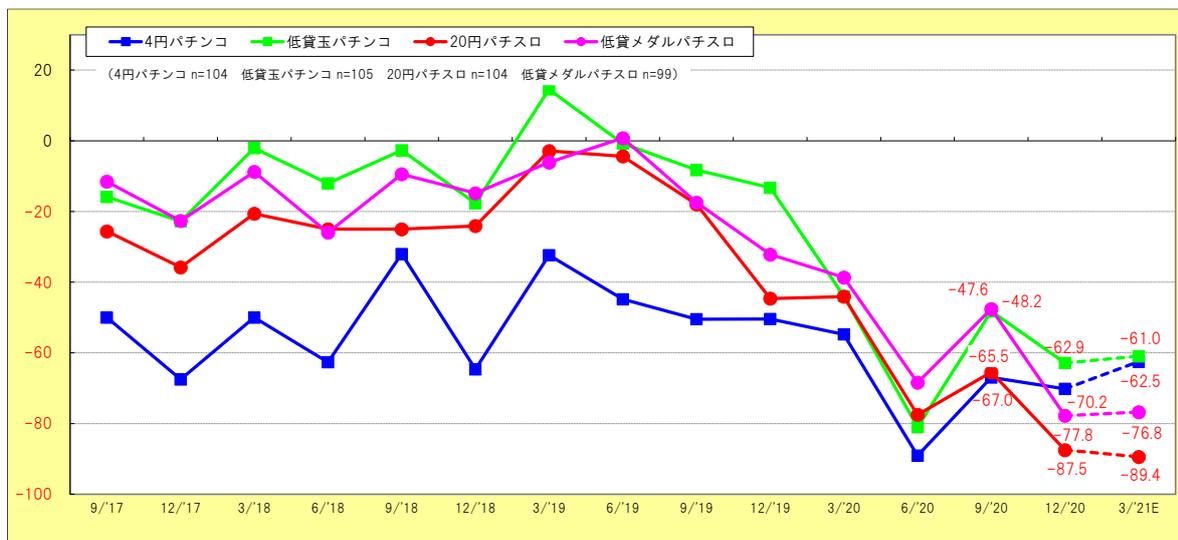
稼動状況(事業者全体) 注:2021年3月期(3/'21E)の数値は見通し

■稼動状況(パチンコ・パチスロ別):パチスロは大幅に悪化、見通しも厳しい



稼動状況はパチンコ▲76.4ポイント(前回比8.0悪化)、パチスロ▲90.6ポイント(前回比24.2悪化)まで落ち込んだ。3カ月後はパチンコ▲70.8ポイント、パチスロ▲91.5ポイントとなる見通しで、パチンコは回復する見通しだが、パチスロは依然として厳しい見通しである。

■稼動状況(遊技料金別):全遊技料金で悪化も、低い水準で推移する見通し



遊技料金別の稼動状況は、全遊技料金で悪化した。

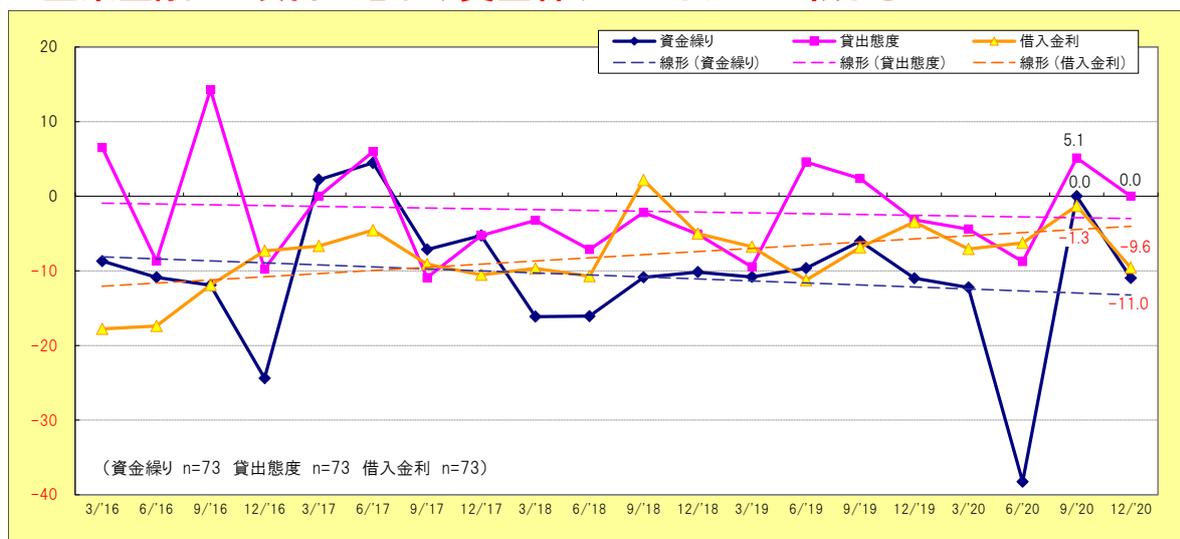
通常貸し遊技料金において、4円パチンコは▲70.2ポイント(前回比3.2悪化)、3カ月後は▲62.5ポイントまで回復する見通しである。20円パチスロは▲87.5ポイント(前回比22.0悪化)、3カ月後は▲89.4ポイントと概ね現状維持の見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲62.9ポイント(前回比14.7悪化)、低貸メダルパチスロは▲77.8ポイント(前回比30.2悪化)となった。3カ月後の見通しについて、低貸玉パチンコは▲61.0ポイントまで回復、低貸メダルパチスロは▲76.8ポイントと概ね現状維持の見通しである。

パチンコ・パチスロともに低い水準で推移する見通しとなっている。

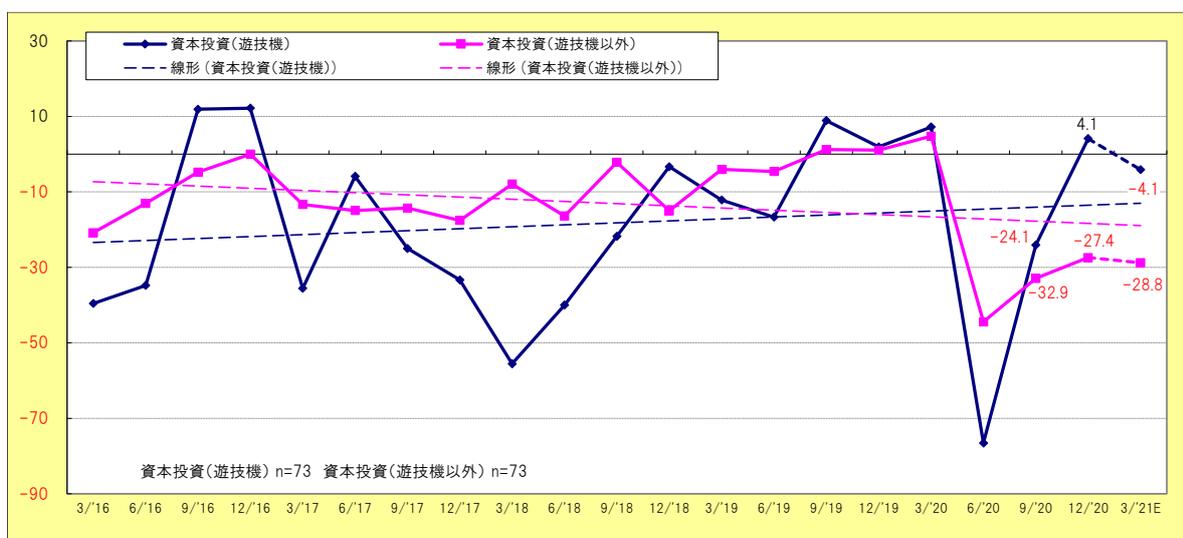
経営の現状(事業者全体) 注: 2021年3月期(3/'21E)の数値は見通し

■企業金融:全項目で悪化、資金繰りはマイナスに転じる



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲11.0ポイント(前回比 11.0悪化)、「貸出態度」±0ポイント(前回比 5.1悪化)、「借入金利」▲9.6ポイント(前回比 8.3悪化)となった。

■資本投資気運:遊技機は大幅に回復も、3カ月後はマイナスに転じる見込み

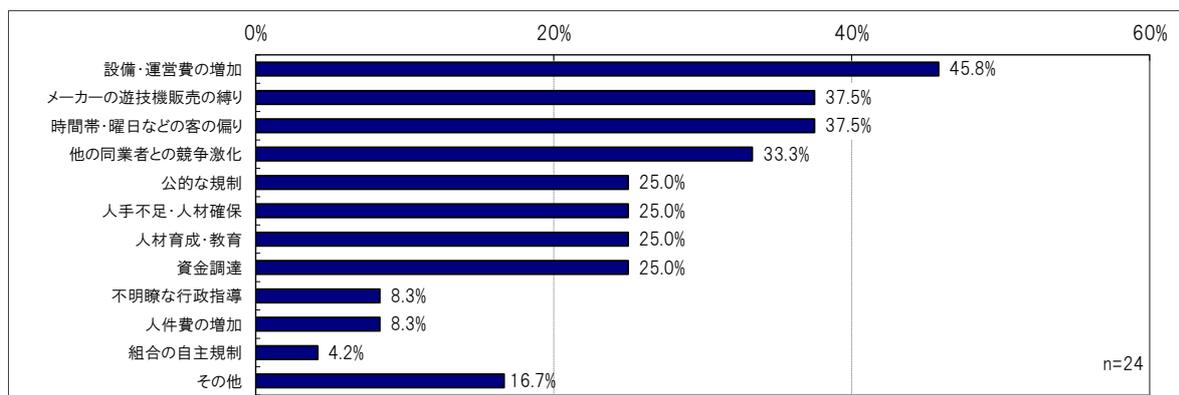


今回の「資本投資気運(遊技機)」は 4.1ポイント(前回比 28.2良化)と大幅に回復したが、旧基準機撤去による入替の影響が考えられる。3カ月後は▲4.1ポイントまで落ち込む見通しである。

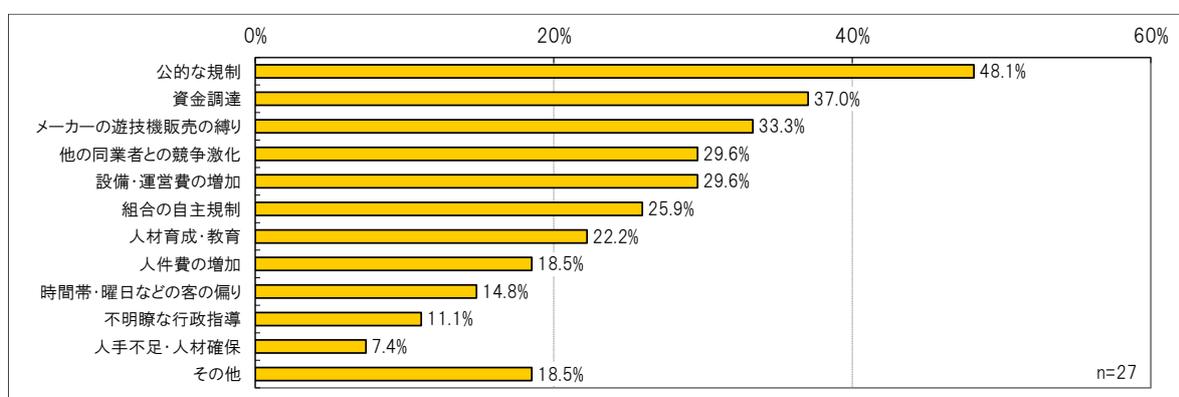
一方、「資本投資気運(遊技機以外)」は▲27.4ポイント(前回比 5.5良化)まで回復した。3カ月後は▲28.8ポイントと概ね現状維持の見通しである。

経営上の課題(事業者規模別) 注:複数回答

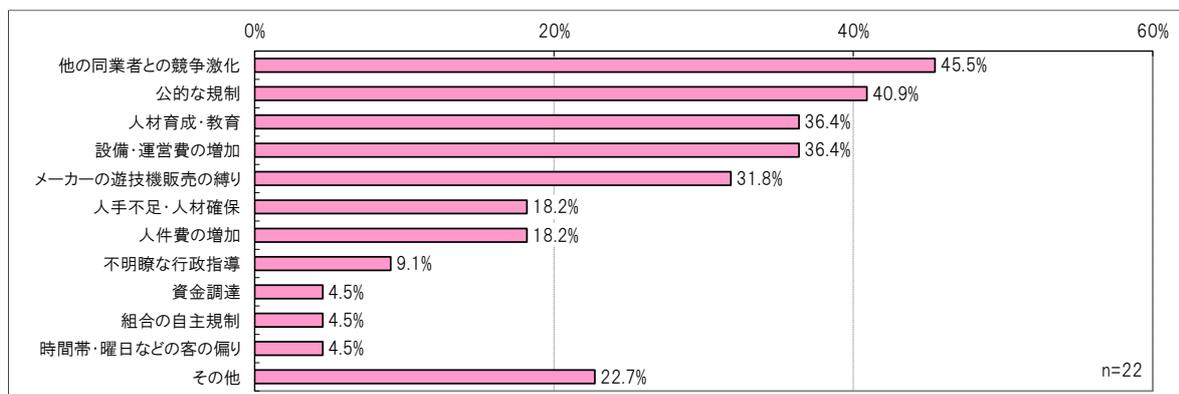
■小規模事業者:設備・運営費が最も高く、2番目に遊技機販売の縛りと客の偏り



■中規模事業者:公的な規制が最も高く、2番目に資金調達



■大規模事業者:同業者との競争激化が最も高く、2番目に公的な規制



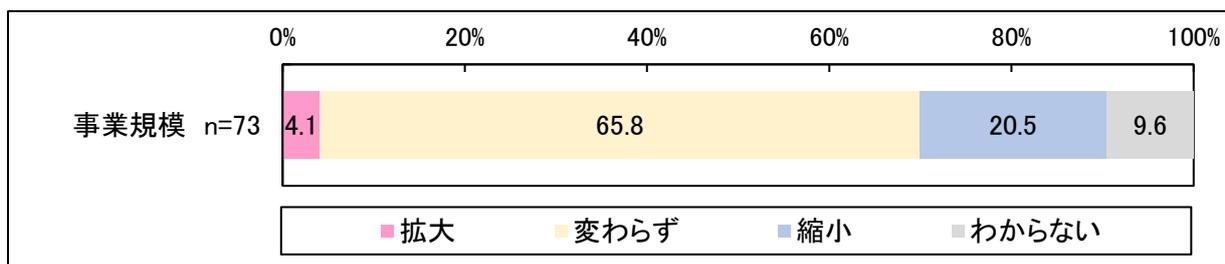
「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)は「設備・運営費の増加」が 45.8%と最も高い。続いて、「メーカーの遊技機販売の縛り」と「時間帯・曜日など客の偏り」が同率で 37.5%となった。

中規模事業者(4~10 店舗)は「公的な規制」が 48.1%と最も高い。続いて「資金調達(37.0%)」、「メーカーの遊技機販売の縛り」(33.3%)の順で高かった。

大規模事業者(11 店舗以上)は「他の同業者との競争激化」が 45.5%と最も高い。2 番目に「公的な規制」(40.9%)が高かった。

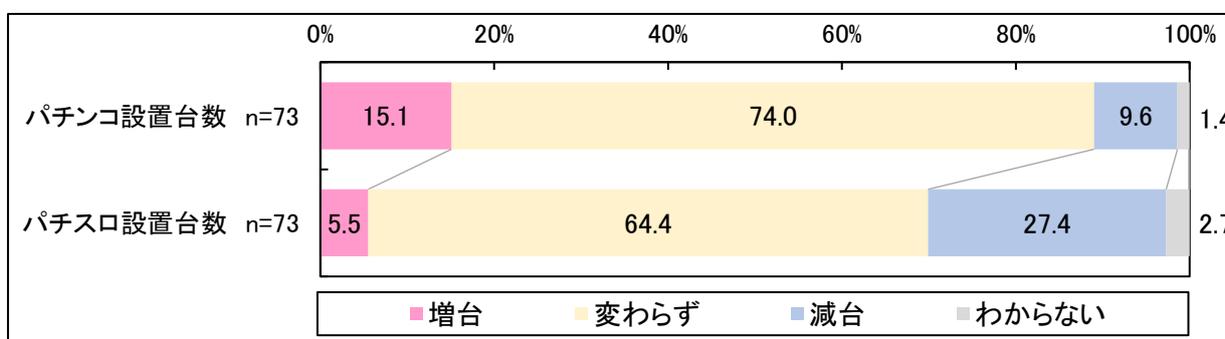
今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)①

■事業規模:「変わらず」が6割以上も、「縮小」する割合のほうが高い



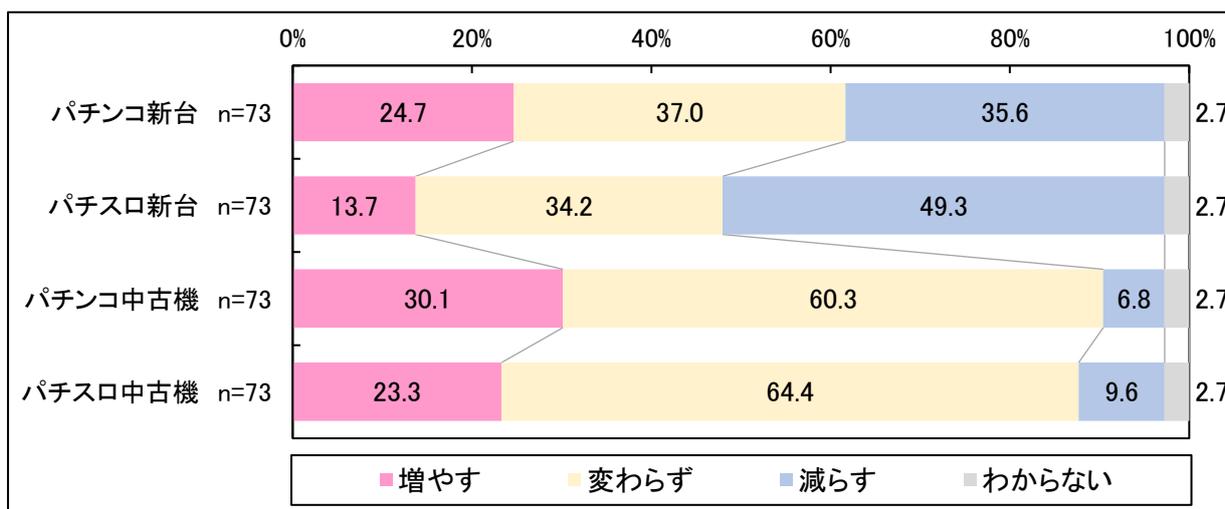
事業規模は、「変わらず」が最も高く65.8%となった。続いて、「縮小」が20.5%、「拡大」が4.1%となり、拡大から縮小を差し引くと▲16.4ポイントとなり、縮小する傾向が見られる。

■設置台数:パチンコは「増台」、パチスロは「減台」の割合が高い



設置台数について、パチンコ設置台数は「増台」が15.1%、「減台」が9.6%となり、増減差(「増台」-「減台」)で見ると+5.5ポイントとなった。パチスロ設置台数は「増台」が5.5%、「減台」が27.4%となり、増減差で▲21.9ポイントとなった。

■遊技機購入費:新台は「減らす」、中古機は「増やす」割合が高い

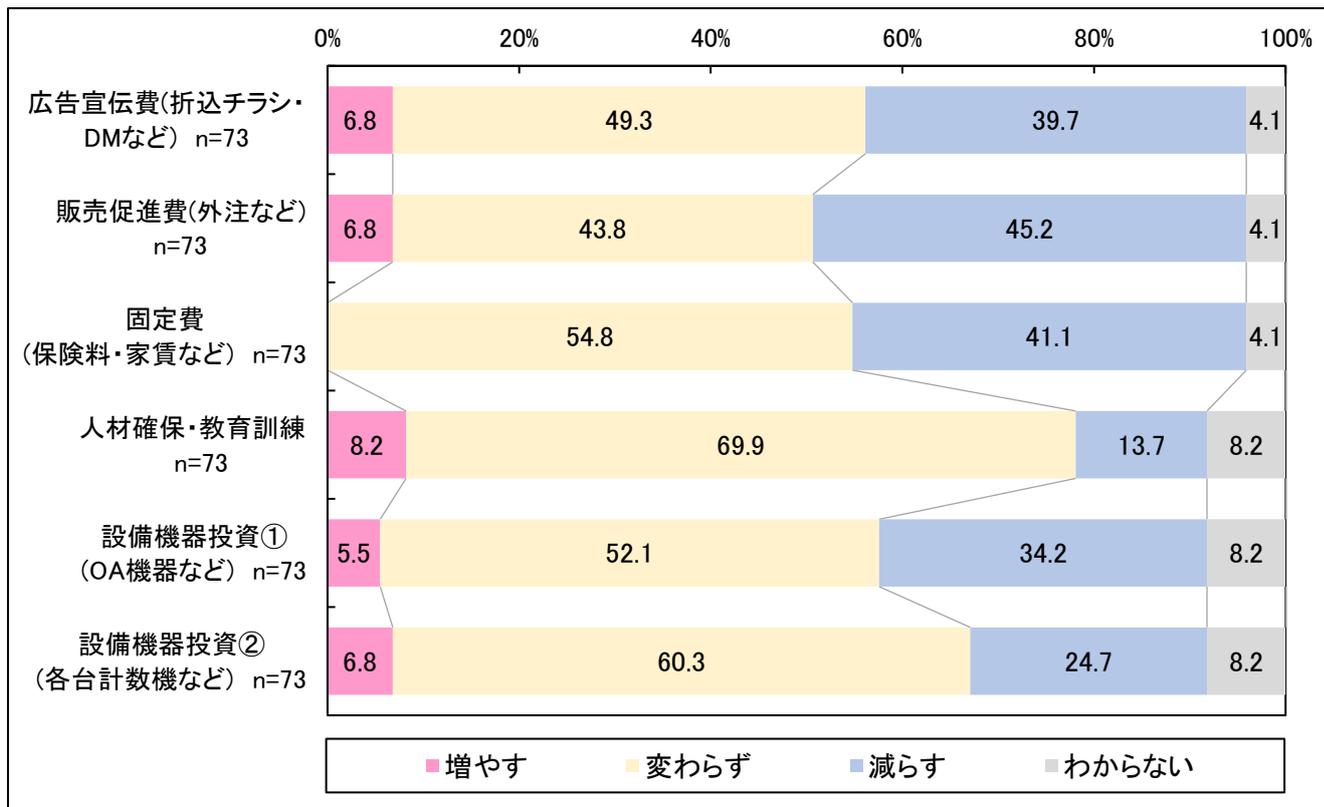


遊技機購入費について、パチンコ・パチスロともに新台は「増やす」よりも「減らす」割合が高く、増減差(「増やす」-「減らす」)で見るとパチンコ新台が▲10.9ポイント、パチスロ新台が▲35.6ポイントとなった。

一方で、中古機はパチンコ・パチスロともに「増やす」割合が高く、増減差ではパチンコ中古機が+23.3ポイント、パチスロ中古機が+13.7ポイントとなった。

今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)②

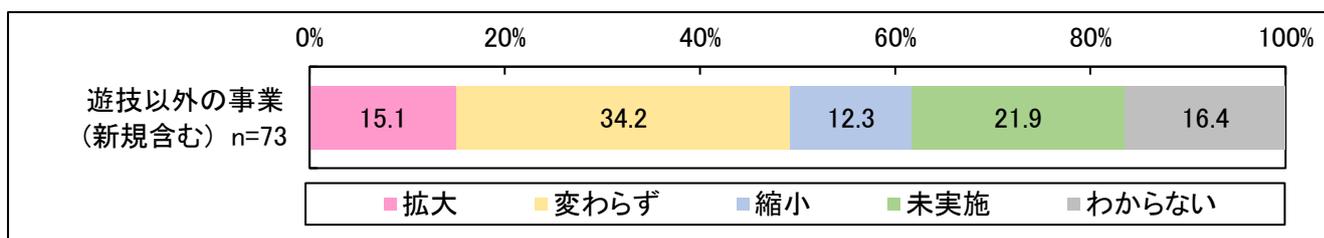
■販売管理費:すべての項目で「減らす」割合が高い



販売管理費について、すべての項目で「増やす」よりも「減らす」割合が高かった。

増減差(「増やす」-「減らす」)でそれぞれの割合を見ていくと、「広告宣伝費」(▲32.9 ポイント)、「販売促進費」(▲38.4 ポイント)、「固定費」(▲41.1 ポイント)、「人材確保・教育訓練」(▲5.5 ポイント)、「設備機器投資①」(▲28.7 ポイント)、「設備機器投資②」(▲17.9 ポイント)となった。増減差でマイナスの割合が最も高いのは「固定費」で、最も低いのは「人材確保・教育訓練」となった。

■遊技以外の事業:「変わらず」が最も高い中で、やや拡大傾向が見られる



遊技以外の事業について、「変わらず」が最も高く 34.2%となった。増減差(「拡大」-「縮小」)で見ると+2.8ポイントとなり、やや拡大の傾向が見える。

コメント(自由回答)抜粋

■新型コロナウイルスの影響

- ◆12月に入ってから新型コロナの影響が再び見られる。稼働は前年よりも約1割下がっているが、どうしようもないので我慢の時だ。(中国・大規模事業者)
- ◆新型コロナの影響がこの数カ月でまた始まった。(北海道・中規模事業者)
- ◆新型コロナ禍で来店客数が減り、まだ戻らない。特に主力の1円の高齢層の戻りが悪く、冬場の繁忙期も期待できない。(東北・小規模事業者)
- ◆先行き不安はあるが、不透明感は脱しつつある。そのことが更なる問題になる。(中部・大規模事業者)
- ◆新型コロナの影響による遊技客の減少分は戻らない前提で、今後の営業を組み立てなければならぬと感じている。(関東・大規模事業者)
- ◆新型コロナ感染により生命の危機が訪れるかもしれないという不安な環境で、遊技に足が向くはずもない。収まらなければどうしようもない。(中国・小規模事業者)
- ◆新型コロナが落ち着くまでは何もできない。(近畿・小規模事業者)
- ◆新型コロナの影響で未だに客数が戻らない。先行きが不安。中小企業はこれからさらに厳しくなると思う。(関東・小規模事業者)
- ◆新型コロナが増加している以上、見通しは悪いと考えている。(関東・大規模事業者)
- ◆新型コロナの拡大が続くと、低貸中心で稼働している自店としては非常に厳しいと感じる。(関東・小規模事業者)
- ◆撤去問題や新型コロナの状況を踏まえると、不安しかない。(関東・小規模事業者)
- ◆新型コロナ次第、新台次第で、いかに先読みするかが難しい。(関東・中規模事業者)
- ◆最近地域で新型コロナウイルスの感染が発生した。自店は感染対策をしっかりとしているのだが、年配者の顧客の来店頻度がかなり減少している。年末年始も例年とはかなり様変わりしそうで不安である。(中部・小規模事業者)
- ◆年末年始の営業が控えているので、お客様にパチンコ店は安心だという認識を持ってもらえるように、引き続き安全対策を強化していきたい。(関東・大規模事業者)
- ◆新型コロナ感染拡大の状況及びワクチン接種がいつできるのかによるだろう。(東北・中規模事業者)
- ◆早く新型コロナのワクチンが提供されることを期待している。(関東・小規模事業者)

■旧基準機撤去と遊技機について

- ◆1月11日の旧基準機撤去を境に市場に変化があると思う。その変化に遅れることなく一歩前に出たい。(中部・中規模事業者)
- ◆P機やS機への移行による支出もあり、頭が痛い。(東北・小規模事業者)
- ◆決算期を迎えるにあたり、来期の遊技機投資の負担が大きくなる見込みであるため、その対応に苦慮している。(関東・大規模事業者)
- ◆沖ドキの撤去期限後の営業に不安を感じる。(関東・大規模事業者)

- ◆旧規則機の撤去猶予はあるが、それでも**1月には大量の入替が控えている**。撤去機はお客様の支持もあり、収益の柱になっている機械が多い。さらに新型コロナの影響が再び増してきている**現状から今後の経営に対する不安は拭いきれない**。(関東・大規模事業者)
- ◆高射幸性遊技機及び旧規則機の撤去に伴う客単価・売上減少による収益の悪化、新型コロナ過における短時間遊技傾向や遊技人口減少による稼働低下など先行きの不透明なことが多く不安が拭えない。**パチスロの2,400枚規制の撤廃や大阪方式の二物二価など休眠のお客様や新規のお客様の遊技動機となるものが欲しい**。(中部・中規模事業者)
- ◆**メーカーの遊技機価格の上昇を防ぐのと、規制緩和への働きかけが重要だ**。(中部・小規模事業者)
- ◆**パチスロ6号機に期待できない**。2,400枚規制と設定1での勝率の悪さに対する改善が必要だ。(関東・小規模事業者)
- ◆**パチスロ遊技機の出玉性能アップが求められる**。(九州・中規模事業者)
- ◆パチスロ専門店を主としている弊社では、**正直、今の6号機の2,400枚規制のままでは商売を継続していくだけの魅力を感じない**。1年後であっても、そこが改善されるという光が見えていれば良いが、それがなくままに希望だけ持てというのはなかなかしんどい。いっそ待っても改善されないとわれれば撤退の決断も出来るのだが…。(中国・中規模事業者)
- ◆新型コロナ禍の状況下で先行きが見通せない不安が大きい。装置産業なので新機種が出てこない状況は耐え難く、**特にパチスロが厳しい**。メーカーの開発力に期待したい。(関東・中規模事業者)

■2021年の展望

- ◆近隣店舗が閉店し、稼働が上昇した店舗もあった。**残存者の利益を信じ、パチンコ店経営に注力するが、それ以外の事業も視野に入れる**ことから、文字通り「一生懸命」な年となるであろう。(中国・中規模事業者)
- ◆新型コロナの影響で、客数や稼働が減少している。冬場になりさらに加速するのだろうか。在宅勤務や休業などで、時間の使い方がどう変化するか。**自宅から近いパチンコ店への遊技回数や稼働時間が増えれば、地域密着型店舗は状況が回復するのではないか**と思う。(関東・小規模事業者)
- ◆今年7月以降は売上前年比7~8割で「潮止まり」の状況だったが、11月中旬以降、ついに下降局面に突入した。緊急事態宣言明けの6月時点でも、第2波、第3波の観測はあったが、それでも希望的観測を含め、年末頃には前年ベースで9割位まで回復するのではないかと予想していた。しかし、このままでは来年度の予測が全く立たない。**豊富な資金力に依拠し、シェア拡大に経営判断の舵を切れる企業が市場を侵食し、M&Aが加速するだろう**。(関東・大規模事業者)
- ◆コロナで失った客数や売上は2021年中に回復することはまずない。言うまでもなく可処分所得が減っている中で支出の中心は衣食住。そこすらままならない中で余暇に回す余力が一般市民にはない。2021年中に回復するとは到底思えない。当然のことながら**収入が減ると消費も減るので、稼働が減るのは至極真つ当な理屈である**。2021年を耐えられなければ先はない。(関東・小規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-71.4	-79.2	-66.7	-54.2	-70.4	-66.7	-65.4	-77.3	-72.7	-67.8	-72.6	-71.7
稼動状況(パチンコ)	-66.7	-70.8	-62.5	-56.0	-66.7	-48.1	-69.2	-77.3	-77.3	-68.4	-76.4	-70.8
稼動状況(パチスロ)	-55.6	-75.0	-75.0	-60.0	-88.9	-92.6	-69.2	-95.5	-95.5	-66.4	-90.6	-91.5
資本投資気運(遊技機)	-14.3	-8.3	8.3	-28.0	0.0	-18.5	-28.0	22.7	0.0	-24.1	4.1	-4.1
資本投資気運(その他設備)	-28.6	-33.3	-33.3	-32.0	-40.7	-40.7	-36.0	-4.5	-9.1	-32.9	-27.4	-28.8
不足感(営業用設備)	-10.7	-25.0	-20.8	-16.0	-11.1	-18.5	-11.5	0.0	-9.1	-9.6	-13.2	-21.7
不足感(雇用人員)	0.0	-12.5	-12.5	-8.0	-7.4	-3.7	-15.4	-18.2	-27.3	-6.1	-5.7	-7.5

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-66.7	-76.5	-64.7	-68.6	-71.9	-68.8	-81.0	-73.7	-73.7
稼動状況(パチンコ)	-61.1	-58.8	-58.8	-71.4	-71.9	-65.6	-81.0	-78.9	-57.9
稼動状況(パチスロ)	-61.1	-88.2	-88.2	-62.9	-87.5	-90.6	-90.0	-84.2	-84.2
不足感(営業用設備)	0.0	0.0	0.0	-11.4	-15.6	-21.9	-9.5	-15.8	-21.1
不足感(雇用人員)	-16.7	-11.8	-11.8	0.0	-6.3	-9.4	-4.8	0.0	5.3
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-75.0	-66.7	-75.0	-55.2	-73.1	-76.9	-67.8	-72.6	-71.7
稼動状況(パチンコ)	-63.6	-83.3	-91.7	-62.1	-88.5	-84.6	-68.4	-76.4	-70.8
稼動状況(パチスロ)	-72.7	-100.0	-100.0	-55.2	-96.2	-96.2	-66.4	-90.6	-91.5
不足感(営業用設備)	-33.3	-25.0	-58.3	-3.4	-11.5	-19.2	-9.6	-13.2	-21.7
不足感(雇用人員)	0.0	-8.3	-16.7	-10.3	-3.8	-7.7	-6.1	-5.7	-7.5

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-52.0	3.6	-25.0	-42.9	-8.0	-7.4	-26.7	4.0	0.0	-38.3	0.0	-11.0
貸出態度	0.0	14.8	-16.7	-10.7	4.0	7.4	-16.7	-4.0	9.1	-8.8	5.1	0.0
借入金利	-8.3	-18.5	-8.3	-17.9	0.0	-22.2	0.0	16.0	4.5	-6.3	-1.3	-9.6

* 全般的業況 n=106、稼動状況(パチンコ)n=106、稼動状況(パチスロ)n=106、資本投資気運(遊技機)n=73、資本投資気運(その他設備)n=73、不足感(営業用設備)n=106、不足感(雇用人員)n=106、資金繰り n=73、貸出態度 n=73、借入金利 n=73

* 小規模事業者=3 店舗以下、中規模事業者=4~10 店舗、大規模事業者=11 店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査である。本調査は2020年9月より(株)シーズ/シーズリサーチが企画・実施しており、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所から引き継いだものである。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、MIRAIぱちんこ産業連盟、余暇環境整備推進協議会の3団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有力パチンコ店経営企業

◇実施時期：

2020年12月10日～2020年12月24日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

<https://sees-research.com>

https://www.eb-i.jp/description_of_business/di/

◇回答状況：

73企業、106地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査元 〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F
Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 URL:<https://sees-research.com>



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

調査協力 〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 URL:www.eb-i.jp

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

©2021 SEES RESEARCH